

「令和7年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会(男子)」報告  
島根県ユース審判員 小早川稀

【実施日程/参加日程】

2025年7月26日(土)～8月2日(土) / 2025年7月25日(金)～7月28日(月)

【会場】

Jヴィレッジ(天然芝)  
Jヴィレッジスタジアム(天然芝)  
広野町サッカー場(人工芝)  
住鋤エナジーマテリアルNARAHHAピッチ(人工芝)  
ハワイアンズスタジアムいわき(天然芝)  
新舞子フットボール場(人工芝)

【活動・研修内容】

大会前 月1回のZoomでの研修(3/23, 4/26, 5/10, 6/21)  
大会での審判活動(1回戦、2回戦)

【研修・担当試合・気付き】

**7/25(金) 前日研修(オフサイドトレーニング, GK8秒プラクティカル(新競技規則))**

オフサイドラインを監視しつつ、タッチライン際のタッチジャッジを見るというトレーニングを行いました。ユースレフェリーの中ではタッチラインから一歩、二歩後ろに下がることで視野が広がり、同一視することが可能になるといいう意見がありました。

**7/26(土) 1回戦 飯塚(福岡) 2-1 修徳(東京②) in JヴィレッジP1**

主審:宮島 大典氏 副審1:中本 万虎平氏 副審2:小早川 稀 第4審:井上 幸寿氏 INS:平石 暁史氏

副審を担当する中で特に難しい判定はありませんでしたが、レフェリーチームとし試合の時間帯、スコア、4局面(攻撃・守備・守備→攻撃・攻撃→守備)に応じた選手の心情やポジショニングを確認しておくことで、プレー選択の予測が可能となり、SPAやDOGSOといった判定がよりクリアに正確にできるようになるとご指導いただきました。たとえ自分がどの役割を担当していたとしても主審をしている時とやることは大きくは変わらないことを知ることができました。

**7/27(日) 2回戦 高知中央(高知) 2-1 前橋育英(群馬) in JヴィレッジP2**

主審:内田 康介氏 副審1:岩本 駿士氏 副審2:小早川 稀 第4審:渡辺 隼人氏 INS:木村 滋氏

この試合を経て、今後改善すべきことはボールホルダーやボールがどのような状況なのかをみて争点となるプレーの中で見るべきものと見なくてもよいものを取捨選択していくことが大切だと感じました。ゴールライン際のペナルティーエリア内でオフサイドラインを監視することは状況的に言えば見なくてもよいものとなるにも関わらず、ボールばかりを見ていてボールに対するコンタクトがある前に、足と足の接触があったのかが見ることができておらず、自分が一番いいポジションで見ることができていたのに、正しい判定へと導く意見が伝えることができなかつたことは自分の実力不足を実感し、悔しさを感じました。そのため、同じことを2度と繰り返さないために多くの状況を想定しながら、トレーニングや試合を行なっていきたいと思いました。

**7/28(月) 後日研修(オフサイドトレーニング、間接視野トレーニング)**

オフサイドトレーニングでは2人1組となり、ペアに撮ってもらった自分の判定の映像を自分自身で確認し、自分の見えた感覚と実際の映像との差をなくしていくというトレーニングを実施しました。最初こそ判定が異なることがありましたが、回数を重ねるたびに正確度も上がり、自分自身の判定に自信を持つことができるようになりました。

オフサイドの判定の質を高めるため、木川田氏より間接視野トレーニングを行なっていただきました。首を横に振ることなく視点を固定しながら間接視野で2人の交点にポジショニングを取るトレーニングを行いました。



【まとめ】

この度は令和7年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会に参加させていただきありがとうございます

た。

全日本高体連レフェリー選抜選考合宿から月1回のZoomなどで今大会に向けていろいろな研修の場を提供していただきありがとうございました。おかげさまで自分のレフェリングに磨きをかけて大会に臨むことができたと思います。大会を通して新たなユースレフェリーや各地域で活躍される2級審判員の方々と試合を作り上げることができたのは、とても良い経験となりました。また、今大会はユースレフェリーとしての派遣で、副審のみの担当でしたが、各地域の2級審判員のそれぞれ特徴のあるレフェリングを自分のものとして取り入れ、自分も同じようにこの舞台で主審を担当したいと思いました。今大会で得た失敗や経験を忘れることなく今後の審判活動に活かしていきたいと思います。

今大会、参加するにあたり携わっていただいた全国高体連、大会関係者、指導スタッフ、インストラクター、ユース審判員、中国FA、島根FAの皆様には感謝致します。本当に貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

